



健康いきいき職場スターター認証制度 2016年度 認証組織のご紹介

ご案内

健康いきいき職場づくりフォーラム(代表:東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野教授 川上憲人、事務局:公益財団法人日本生産性本部)では2014年に「健康いきいき職場スターター認証」を制定しました。このほど、2016年度認証組織として、以下3組織を、健康いきいき職場づくりに取り組む優良組織として認証いたしました。

オムロンヘルスケア株式会社
株式会社富士通マーケティング
NTTデータシステム技術株式会社

健康いきいき職場スターター認証は、専門家で構成される認証委員会により、申請組織の提出する書類審査を以って決定され、健康いきいき職場づくりフォーラム成果発表シンポジウムにて、各組織に授与されます。



公益財団法人 日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



【2016年度 認証委員会】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 教授 川上憲人氏(委員長)

一橋大学大学院商学研究科 教授 守島基博氏

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 准教授 島津明人氏

中外製薬株式会社 統括産業医 難波克行氏

認証委員会開催日:2016年11月10日

認証日:2016年11月10日

認証期間:2016年11月10日~2018年11月9日



2016年度 認証組織のご紹介

オムロンヘルスケア株式会社



本社:京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

従業員数:905名 業種:製造業

申請単位:会社申請

主な評価ポイント:持っている資源がすでに高く、いきいき度も高いです。いきいきの源泉となるような組織づくりを丁寧にやっている点、また良いと考えらえたことが社内です承されきちんとやることが、ポリシーとして降りている点が評価されました。

株式会社富士通マーケティング



富士通マーケティング

本社:東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティC棟

従業員数:3,750名 業種:情報通信業

申請単位:会社申請

主な評価ポイント:課題を認識して、それに対応するために戦略的に対応している点、またほめるというコンセプトをいきいき施策の中心にしている点が評価されました。

NTTデータシステム技術株式会社



Global IT Innovator


本社:東京都中央区日本橋室町 4-5-1 さくら室町ビル 10 階

従業員数:959名 業種:情報通信業

申請単位:会社申請

主な評価ポイント:メンタルヘルス不調への対策としてはいろいろなプログラムを持ち、きちんと対応しており、PDCA サイクルを回している点、またそれだけにとどまらず、次の課題に挑戦しようとしている点が評価されました。





健康いきいき職場スターター認証制度のご案内

健康いきいき職場認証制度は、組織における健康いきいき職場づくりを推進するための一つの基準を示すものです。この基準により、どのような取り組みによって健康いきいき職場が実現される可能性が高いかを示します。本認証制度により、現在健康いきいき職場づくりを推進している組織の取り組み状況を評価するとともに、これから推進しようとする組織には、どのように取り組めば効果的かを示します。

スターター認証制度の特徴

- ①6つの認証基準に基づき、申請書作成・面談・学識による審査、フィードバックを経て、「健康いきいき職場づくり」への取り組みをご支援します。
- ②「スターター制度」のため、現在実施している施策だけではなく、今後計画も評価対象にするため、「これから取り組みたい」組織にも有効です。
- ③認証単位は、組織単位、事業所単位、部署単位、いずれでもお受けするため、取り組みに着手しやすい単位での申請も可能です。

【認証基準】

以下6つの認証基準に答える申請様式を提出いただき、申請自由などを確認する面談を実施の上、認証委員会にて内容の評価を実施し、認証可否を決定致します。

基準1 組織トップによる宣言	基準2 組織目標との連関
基準3 PDCA サイクルでの実践	基準4 具体的な取組内容
基準5 定量的・定期的評価の実施	基準6 コンプライアンスへの配慮

【認証制度の活用方法】

- 認証組織には、認証マークと認定証を差し上げます。社外向けには組織のイメージアップに、また社内向けの広報・ご説明にご活用ください。
- 認証制度に申請することにより、自組織の現状の棚卸し・評価ができます。申請のプロセスそれ自体が健康いきいき職場づくりの取組の一部となります。
- フィードバックレポート(ご希望の組織に有料でご提供)を活用いただくことにより、具体的、かつレベルアップした取組につながられます。
- 当フォーラムが有する各種ソリューションプログラムとの有機的な連携が可能です。